

第5回 全国救助技術交流集会 報告 組織部 下窪義文

全国連盟主催の救助技術交流集会に参加しました。

・とき 7月5日～6日(土日)

・ところ 神戸市立神戸セミナーハウス セミナー館(大セミナー室)

・参加者 全国連盟川嶋理事長 石川遭対部長 遭対部員8名 北海道・宮城・福島・千葉
愛知・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫・岡山・広島・香川・愛媛・長崎 49名

(7/5 土) 13:00～川嶋理事長の挨拶

13:10～石川遭対部長から過去 10 年間の事故件数の報告では事故件数が増えています。

- ① 事故者数——2020 年コロナ過では 236 件で、2023 年は 366 名と一番多くなっている。
- ② 死亡行方不明——2015 年は 12 名、2024 年は7名。
- ③ 2024 年代男女別——50～60 代が多く 178 人/365 人中、女性が 204 人。
- ④ 同年事故時間帯——10時代で 39 人、11 時代 36 人、12 時代 42 人、13 時代 56 人。
- ⑤ 同年形態別事故者——無積雪期が 200 人、登攀 50、沢登 36、積雪期 25、山スキ- 15
- ⑥ 同年事故の原因者数一転倒 155 人で42%、転・滑落 96 人、虫動物 42、病気 10、
落石 8、高度障害 3、凍傷 6、道迷い 2、低体温0、雪崩0 となっている。
- ⑦ 同年連盟別事故者数——東京都 73 人、兵庫県 34、北海道 22、神奈川 22 人

13:50～基調報告:山岳遭難事故早期解決のために(オーセンティックジャパン 八木澤)

- ・山岳遭難 捜索・救助の現状とココヘリ・発見・位置情報をヘリやドローンから大幅に短縮
- ・捜索・救助活動長期化2つのリスク 2つのタイムリミット 72 時間(3 日)を過ぎると生存者が著しく低下する。 78 時間(4～7 日間)で公的機関の捜索が打ち切られます。
公的捜索打ち切り後。長期的捜索組織に依頼
- ・経済的リスク 多額の捜索を投じてでも発見されない場合。遭難者は失踪者として扱われ、
死亡認定されるまで7年間。生命保険が受け取れない。勤務先から解雇、退職金がもらえない。住宅ローンの支払いを続けなくてはならない。
- ・ココヘリ サービスの概要
会員の山岳遭難時 初期捜索活動及び二次捜索(公的機関の捜索打ち切り以降)活動
(役務)を年間55万円まで提供します。

16:00～各県連からの報告

- ① 道央連盟救助隊沢搬出の報告 北海道一花岡・白石
事故発生 2023 年 8 月 13 日 15:10 日高山系ヌビナイ川エリア 6名パーティー
事項者 50 代女性 雨天によるエスケープルートの尾根歩き下降中に滑落
- ② 倉敷ハイキングクラブ 広戸仙登山中の滑落事故報告 2025 年 5 月 3 日 11:46
ふるさとコースのシャクナゲ滝を過ぎた傾斜地登山道から40m下の沢に転落

(7/6 日) 9:00～搬送技術 (ザイル担架の使い方)

数人に分かれて担架の作り方の実演を行った。1)末端を1～2m残し4つほどループを作る。2)ループの中をぐらして編む。肩、腰あたりは止め結びを数か所作る。末端は止め結びを数か所必要。